

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 プレイ

公表日 2026年 3月 25日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		適切なスペースで運営しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		パート職員等も含めて、配置基準よりも多く配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		玄関の段差を緩和するためにすのこを置きました。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日清掃行き清潔な空間にしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		気持ちが落ち着かない時に別室で落ち着いたり、プライベートに配慮して着替えやおむつ交換で別室で行っています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		人事課で各学期ごとに上司と目標設定や振り返りを行っています。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者の方のご意見を把握し、次年度の業務改善に繋げます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎週クラス会議やグループSV行って、職員だけでなくパートさんの意見も聞き情報共有しながら療育に活かしています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		法人研修や朝研修、職員の就業年数によって研修が設定されており、研修に参加する機会が確保されています。また、外部研修などにも参加し学びを深め、療育に活かしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成しました。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		必ず保護者の方との面談でアセスメントを行ない、6ヶ月ごとに、内容を見直し作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員全員で、子どもの特性を理解し話し合って作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		クラス担任を中心に、支援内容を共有しています。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		職員全員がCSP（コモンセンスペアレンティング）を学び、毎朝、効果的なほめ方の教育法の使い方を練習し、実践に繋げています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		全ての項目を個別支援計画に組み込んで作成しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		その日の内容や週一回のバスでのお出かけなど、活動内容を職員全員で話し合い立案しています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		職員で話し合い、様々な活動を考え、工夫しています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		個別活動・集団活動、どちらも大切にしています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		活動内容は職員間で共有し、それぞれの動きや役割の確認をして、チームで連携して支援しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		その日の退勤前か次の日の朝に、必ず振り返りを行っています。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は日々取っており、関わりの改善等に活かしています。	
	23	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回、振り返りを行い、個別支援計画を見直しています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		関係機関の会議にはこどもの担当や児童発達支援管理責任者等、こどもの状況を理解している者が参画しています。	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		各医療機関や幼稚園・保育園と必要に応じて連携出来るよう体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行支援の中で、保護者や併行通園先等のニーズに合わせて適切に引き継ぎや情報共有し相互理解が図れるよう努めています。	連絡を取り合っていない併行通園先があるので連絡を取り合い情報共有をしていきたいです。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		引き継ぎを必ず行って、情報共有をしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		法人内にセンターがあるため、協力しあっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		法人内の保育園と交流する機会があります。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		こまめに連絡を取り合いお子さんの発達や課題について共通理解を深めています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		毎週火曜日に年少のクラスのCSPとグループカウンセリングを行っています。それ以外では、事業所内面談でお話しを伺っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		必ず説明してから、支援が開始出来るように設定しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者に必ず聞き取りを行い、家族のニーズを反映させています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		児童発達支援計画を見せて説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		月1回程度、家族支援として面談を行なっています。必要に応じ電話でお話しを聞き、助言等を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		父母と先生の会を開催し、保護者同士の繋がりも支援しています。法人内の保育園に通う兄弟児とも交流しています。また、行事等に兄弟児も参加出来るよう声掛けなど支援を行っています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れに対して、迅速に対応しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		お便り・月の予定・行事についての案内等は、がくぶりを使用して発信しています。また、行事後にはHPのブログでも、お子さんの様子を公開しています。	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫を使用して管理しています。		

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子さんの発達に合わせた伝え方で、絵カードなどを使用し、わかりやすく伝えていきます。なかなか来られない保護者の方には電話連絡等で情報伝達を図っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		行事の参加等、誘っています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、職員・保護者の方誰でもが見られるように掲示しています。朝の打ち合わせ後や土曜日などに、マニュアルに沿って練習を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地震や火災を想定した避難訓練を毎月行っています。年に1回、地域の小学校まで避難する練習も行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		服薬やてんかん発作等の状況については、対応をマニュアルとして作成する等、職員全体で共有できるよう取り組んでいます。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物アレルギーのお子さんがいるため、毎日ルールに沿って給食室とチェックを行い、給食を提供するようにしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しています。また、法人内での安全に関するルールは、研修などで練習を行なっています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		周知して取り組んでいます。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		けが等でクリニック受診をした際などヒヤリハット報告をして、再発防止に努めています。	コミュニケーション不足が原因のことが多いので連携強化していきたいです。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		毎週水曜日にアンガーマネジメントの練習を行っています。助けを求める、助けに入る練習を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		個別支援計画に記載して、保護者の同意を得ています。		